

BR1250 SNMP トラップが不正形式で送信される件

■ 概要

SNMPv1 形式の SNMP トラップを利用し 497 日以上経過した場合に、SNMP トラップが不正形式で送信される不具合が判明しました。

発生条件に該当する場合は、対策版のストレージ制御ソフト：0973. xxx 以降へのアップデートを実施していただきたく宜しくお願い申し上げます。

■ 重要性

注意

■ 現象

ストレージ制御ソフトのリビジョンが 091P. xxx、093B. xxx、0953. xxx の BR1250 において、SNMP トラップを利用し 497 日以上経過した場合に、SNMP トラップが不正形式で送信されます。

SNMP マネージャではトラップを受信できない現象や、受信したトラップが正常に表示できない現象が発生する場合があります。

■ 対象製品

対象装置は下記となります。

対象モデル名	対象形名	ストレージ制御ソフト	出荷時期
BR1250 基本筐体	GQOBR125-*****	091P. xxx 093B. xxx 0953. xxx	2015年6月16日 ~ 2018年3月6日

リビジョンの確認方法は[別紙 1]を参照下さい。

■ 発生条件

SNMPv1 形式の SNMP トラップを利用し、BR1250 の起動または SNMP 機能の設定実施後、497 日以上経過した場合に発生します。SNMP のバージョンの確認方法は[別紙 2]を参照下さい。

■ 回復策

以下のいずれかの操作を行うことで回復できます。

(1) BR1250 を再起動します。

BR1250 を再起動することで、経過日数がリセットされます。

(2) SNMP 設定の変更を行います。

SNMP 設定 (SNMP 共通情報の設定) を変更することで、SNMP エージェントが再起動され、経過日数がリセットされます。SNMP の設定変更方法は[別紙 3]を参照下さい。

■ 回避策

497 日以上経過する前に、上記回復策(1)、(2)のいずれかの操作を行うことで回避できます。

■ 対策

不正形式の SNMP トラップが送信されないようストレージ制御ソフトを修正しました。リビジョン:0973. xxx

下記の URL (HA8000Web サイト「ドライバ・ユーティリティ ダウンロード」) から対策版を入手し、ストレージ制御ソフトをアップデートしてください。

掲載 No. 12347481

<http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/download/driver/12347481.html>

■ 更新情報

2018年3月16日 この情報ページを掲載しました。

リビジョンの確認方法

リビジョンの確認方法について下記に記載します。

■ストレージ制御ソフトのバージョン確認方法

- (1) iStorageManager Express もしくは WebSAM iStorageManager Suite にログインします。
- (2) 中央ペインからストレージ制御ソフトのリビジョンを確認したいディスクアレイを右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。
- (3) 表示されるプロパティウィンドウの「ストレージ制御ソフトのリビジョン」を確認して下さい。

以上で確認は完了です。

SNMP のバージョンの確認方法

SNMP のバージョンの確認方法について下記に記載します。

■ ストレージ制御ソフトのバージョン確認方法

- (1) iStorageManager Express もしくは WebSAM iStorageManager Suite にログインします。
- (2) 中央ペインから SNMP バージョンを確認したいディスクアレイを右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択します。
- (3) 表示されるプロパティウィンドウに「SNMP 情報」タブがある場合には、「SNMP 情報」タブから「SNMP バージョン」を確認してください。「SNMP 情報」タブがない場合には、「ネットワーク」タブより「SNMP バージョン」を確認してください。

以上で確認は完了です。

SNMP の設定変更方法

以下は、SNMP 共通情報の管理情報 (Unit Info) を一時的に "test" に変更することで、運用に影響なく経過日数をリセットする方法です。

1. SSH/TELNET クライアントでディスクアレイ装置へ administrator 権限でログインします。
2. SNMP 設定値を確認します。

```
# iSMview -d
--- Disk Array Detail Information ---
Disk Array Name          : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
(略)
--- SNMP Common Information ---
Trap Sense Interval(s)   : 10
SNMP Trap during Maintenance : on
Accept SNMP Packet From Any IP Address : off
SNMP Trap when Write Through Mode : off
Community Name           : public
Unit Contact              :
Unit Name                 :
Unit Location             :
Unit Info                 :
Unit Event Filter         : warning
(略)
```

3. 変更する設定値をメモします。

本説明では Unit Info を変更しますので、設定値なしとしてメモします。

4. 以下の CLI コマンドを投入し、SNMP の設定を変更します。

```
# iSMrpt setsnmpcmnprop -info test
ExitStatus:0
```

5. 正しく内容 (Unit Info) が変更されていることを確認します。

```
# iSMview -d
--- Disk Array Detail Information ---
Disk Array Name          : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
(略)
--- SNMP Common Information ---
Trap Sense Interval(s)   : 10
SNMP Trap during Maintenance : on
Accept SNMP Packet From Any IP Address : off
SNMP Trap when Write Through Mode : off
Community Name           : public
Unit Contact              :
Unit Name                 :
Unit Location             :
Unit Info                 : test
Unit Event Filter         : warning
(略)
```

6. 変更した設定を「手順 3」のメモした内容で元に戻します。

下記コマンドは、設定値なしとメモした内容で値を削除する例です。

```
# iSMrpt setsnmpcmnprop -info ""
ExitStatus:0
```

7. 設定が元に戻ったこと確認します。

```
# iSMview -d
--- Disk Array Detail Information ---
Disk Array Name           : XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
(略)
--- SNMP Common Information ---
Trap Sense Interval(s)    : 10
SNMP Trap during Maintenance : on
Accept SNMP Packet From Any IP Address : off
SNMP Trap when Write Through Mode : off
Community Name           : public
Unit Contact              :
Unit Name                 :
Unit Location             :
Unit Info                 :
Unit Event Filter         : warning
(略)
```

以上で設定変更は完了です。

SNMP の設定および設定変更については、以下のマニュアルを参照してください。

■ CLI を用いた SNMP の設定の説明

「BR1250 ソフトウェア iStorageManager コマンドリファレンス」

第 II 編 機能編

第 5 章 ディスクアレイ設定

5.7 SNMP 設定

第 IV 編 リファレンス編

第 13 章 コマンドリファレンス

13.9 通報設定コマンド

■ SNMP 全般の設定の説明

「BR1250 ソフトウェア MIB リファレンス」

第 1 章 設定

以上